

令和元年 12 月 17 日

取手市議会議長
入 江 洋 一 殿

取手市議会議員
阿部洋子

議員派遣（視察研修）報告書

令和元年11月14日付け、取議発第103号にて決定通知のありました議員派遣につきまして、下記のとおり報告いたします。

記

1 派遣年月日

令和元年11月19日

2 派遣場所及び派遣目的

場所：東京都千代田区

千代田区立麴町中学校

目的：中学校教育における先進的な取り組みの視察のため

3 派遣議員

遠山智恵子・齋藤久代・阿部洋子・金澤克仁

4 視察報告

この度教育委員会の皆様と一緒に議員派遣という形で視察に参加いたしました。

公立中学校としての取り組みに全国から視察が殺到しており、今回も視察網申し込み1時間で定員の150名に達したそうです。

まずは、5時間目の授業を自由にご覧くださいということで6階のプールから順に見学。

各学年4クラスの授業を見学いたしました。実に伸び伸びと学んでいます。

工藤校長先生から2時間弱取り組みを伺いました。

定期テスト・宿題の廃止、固定担任制から全員担任制へ。

修学旅行はツアー企画取材旅行として、実際にパンフレット作成まで行い旅行会社にプレゼンを行います。

生徒が主体で運営を行う報道局や購買局。

生徒が主体で企画する体育祭・麹中祭等々は目をみはるものがありました。

「自律」をテーマに慣習に捉われず、生徒をど真ん中に置き、関わる大人の本気の取り組みを学ばせていただきました。

質疑応答は夜の7時まで続いたと伺いました。

この地域は私立に通うお子さんが多い地域で、公立に通うお子さんは受験という戦いに破れ、大人や教師を信じられなくなり自己肯定感を失った子どもたちが多く通うことになることから、1年生、2年生はほぼ「リハビリ」という表現をされておりましたが、自己肯定感を取り戻すことから始まるというお話は衝撃的でした。しかし、必ず卒業までに「自律」して生きる力をはぐくむまで関わるこの中学校の取り組みは本当に素晴らしい。

一時期は2クラスの時もあったそうですが、令和2年度の新入生は6クラスになるとのことでした。遠くは和歌山県から家族が引っ越しをされて来ての入学とのこと。教育で人口増加ということになります。教育が地方創生の一つになりうるんだと感じた次第です。

以上